

各 位

上場会社名	日本精密株式会社
代表者	代表取締役社長 岡林 博
(コード番号	7771)
問合せ先責任者	執行役員 田崎 政己
(TEL	048-225-5311)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年10月30日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

業績予想の修正について

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,475	37	10	11	0.91
今回発表予想(B)	4,193	39	56	52	3.92
増減額(B-A)	281	76	66	64	
増減率(%)	6.3				
(ご参考) 前期実績 (平成21年3月期)	5,003	144	150	43	4.08

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,675	76	27	25	2.04
今回発表予想(B)	2,437	112	55	59	4.43
増減額(B-A)	238	36	27	85	
増減率(%)	8.9				
(ご参考) 前期実績 (平成21年3月期)	3,159	36	58	68	6.45

修正の理由

(1)平成22年3月期通期連結業績予想の修正理由

下期においてはある程度の消費低迷を予想はしておりましたが、売上高は、4,193百万円となり前回予想を281百万円下回る見込みです。その主な要因は、時計バンド事業では、欧州高級時計メーカーへは消費低迷の影響を大きく受け525百万円となり110百万円下回る見込みです。国内大手時計メーカーへは新製品の受注増加がありましたが、生産拠点の中国、ベトナムでの旧正月休暇による生産力不足の影響を受け1,966百万円となり31百万円下回る見込みです。メガネ事業では、消費低迷の影響を受け、本社メガネ部門は240百万円となり122百万円下回る見込みです。これは欧州向けには新製品受注点数は増加しましたが単位当たり数量が減少したこと、また国内新規取引先からは確定受注がありましたが生産は次期事業年度より開始になったこと等によります。株式会社村井のメガネ部門は1,113百万円となり38百万円上回る見込みです。これは国内大手チェーン店向け及び韓国向けの的確な販売政策実行成果によります。その他事業では346百万円となり55百万円下回る見込みです。これは消費低迷により国内向け静電気除去器関係の受注が減少したことによります。

営業利益は、固定費削減による販売費及び一般管理費の減少5百万円の寄与がありましたが、売上高減少による売上総利益の減少81百万円があり前回予想を76百万円下回る見込みです。

経常利益は、営業利益の減少76百万円があり、為替差益の発生10百万等により前回予想を66百万円下回る見込みです。

当期純利益は、経常利益の減少66百万円があり、貸倒引当金戻入による特別利益4百万円及び固定資産除却損による特別損失2百万円により、前回予想を64百万円下回り、52百万円の当期純損失なる見込みです。

(2)平成22年3月期通期個別業績予想の修正理由

下期においてはある程度消費低迷を予想しておりましたが、売上高は、2,437百万円となり前回予想を238百万円下回る見込みです。その主な要因は、時計バンド事業では、欧州高級時計メーカーへは消費低迷の影響を大きく受け530百万円となり114百万円下回る見込みです。国内大手時計メーカーへは香港での新製品受注増加が寄与したことにより1,502百万円となり63百万円上回る見込みです。メガネ事業では、消費低迷の影響を受け、本社メガネ部門は252百万円となり118百万円下回る見込みです。これは欧州向け新製品受注点数は増加しましたが単位当たり数量が減少したこと、また国内新規取引先からは確定受注がありましたが生産は次期事業年度より開始になったこと等によります。その他事業では、消費不況の影響により静電気除去器関係の受注減少があり、152百万円となり68百万円下回る見込みです。

営業利益は、固定費削減による販売費及び一般管理費の減少4百万円の寄与がありましたが、売上高減少による売上総利益減少40百万円があり、前回予想を36百万円下回る見込みです。

経常利益は、営業利益の減少36百万円があり、受取利息及び受取手数料の増加等による営業外収益の増加6百万、支払利息の減少による営業外費用の減少1百万円がありましたが前回予想を27百万円下回る見込みです。

当期純利益は、経常利益の減少27百万円があり、子会社の予想利益の減少による同子会社に対する貸倒引当金繰入見込または繰戻見込の増減(株式会社村井は繰戻見込1百万円から繰戻見込4百万円へ、NISSEY VIETNAM CO., LTD.は繰戻見込55百万円から繰入見込8百万円へ)により差引特別利益減少60百万円及び貸倒引当金繰戻2百万円等があり、前回予想を85百万円下回り、59百万円の当期純損失となる見込みです。

以上